

読むこと

し料を読み取ろう(ホットケーキの作り方)

年 組 番 名前

山中さんは、ホットケーキの作り方を次のようにまどめました。森田さんと上田さんは、山中さんの新聞を読み、家でホットケーキを作りました。次の【ホットケーキ新聞】と【ホットケーキを作った感想】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ホットケーキ新聞】

おいしい！ホットケーキを作ろう！

材料 (8まい用)

- ・ 卵…2こ
- ・ 牛乳…160mL
- ・ 小麦粉…240g
- ・ ベーキングパウダー…5g



作り方

- 1 卵と牛乳をボウルに入れて混ぜる。
- 2 ちがうボウルに、小麦粉とベーキングパウダーとさとうを入れておく。
- 3 1と2をあわだて器で混ぜる。ふわふわのホットケーキにするために、この時、きじをませすぎないようにする。
- 4 ラップをして、15分以上上れいぞうこに入れておく。
- 5 フライパンでやく。
(やくときの注意)
ホットケーキをうら返すときは、やけどに気をつけよう。

作ってみて思ったこと

- 1まい目は、こげてしまいました。火を強くすると、こげてしまうので火かげんに気をつけることが大切です。2まい目は火を弱くしたら上手にやけたのでよかったです。
- きじに具材を入れることもできます。次は、さつまいもを使ったホットケーキにちょうせんしようと思います。

【ホットケーキを作った感想】

少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。

森田さん

食べたとき、少しかたかったな。次はやわらかいホットケーキにしたいな。

上田さん

一 【ホットケーキ新聞】では、「材料(8まい用)」に書きわすれているものがあります。それを【ホットケーキ新聞】の中からさがして書きましよう。

書きわすれているもの

二 森田さんと上田さんは、ホットケーキをうまく作るために、【ホットケーキ新聞】をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。もっともてき切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 「材料」に書かれた量に注目して読む。
- 2 「作り方」に書かれた内容に注目して読む。
- 3 「作ってみて思ったこと」に書かれた内容に注目して読む。

森田さん

上田さん

し料を読み取ろう(ホットケーキの作り方)

年 組 番 名前

山中さんは、ホットケーキの作り方を次のようにまどめました。森田さんと上田さんは、山中さんの新聞を読み、家でホットケーキを作りました。次の【ホットケーキ新聞】と【ホットケーキの感想】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ホットケーキ新聞】

おいしい！ホットケーキを作ろう！

材料 (8まい用)

- ・ 卵…2こ
- ・ 牛乳…160mL
- ・ 小麦粉…240g
- ・ ベーキングパウダー…5g



作り方

- 1 卵と牛乳をボウルに入れて混ぜる。
- 2 ちがうボウルに、小麦粉とベーキングパウダーとさとうを入れておく。
- 3 1と2をあわだて器で混ぜる。ふわふわのホットケーキにするために、この時、きじをませすぎないようにする。
- 4 ラップをして、15分以上れいぞうこに入れておく。
- 5 フライパンでやく。
(やくときの注意)
ホットケーキをうら返すときは、やけどに気をつけよう。

作ってみて思ったこと

- 1まい目は、こげてしまいました。火を強くすると、こげてしまうので火かげんに気をつけることが大切です。2まい目は火を弱くしたら上手にやけたのでよかったです。

【ホットケーキを作った感想】

少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。

森田さん

食べたとき、少しかたかったな。次はやわらかいホットケーキにしたいな。

一 【ホットケーキ新聞】では、「材料(8まい用)のホットケーキ新聞」の中からさがして書きましよう。

書きわすれているもの

きど(の量)

◆かいせつ◆材料と作り方を見くらべながら考えます。作り方の中で、材料に出てるものこしをつけたいと分かります。

二 森田さんと上田さんは、ホットケーキをうまく作るために、【ホットケーキ新聞】をもとに読んでみました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。もつともてき切なもの、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 「材料」に書かれた量に注目して読む。

2 「作り方」に書かれた内容に注目して読む。

3 「作ってみて思ったこと」に書かれた内容に注目して読む。

森田さん

3

上田さん

2

◆かいせつ◆森田さんは「こげないようにしたい」と思っています。そのことは、**作ってみて思ったこと**に書いてあることが分かります。上田さんは「やわらかくしたい」と思っています。そのことは、**新聞の作り方**の3に書いてあることが分かります。

つなぎ言葉を使って文を書こう

年 組 番 名前

読み手に伝わりやすくするために、一から三の の文を、つなぎ言葉を使って二つの文に分けて書き直します。書き直した終わりの五文字と、二文目のつなぎ言葉に続く五文字を書きましよう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

一 和菓子職人^{がし}の上野さんに和菓子職人の仕事についてインタビューするためには、和菓子の作り方や種類などについて前もって調べておく必要があると思ったので、わたしは、図書館へ行って和菓子に関する本を借りてくることにしました。

。だから、

二 新しく図書委員になった五年生は、貸し出し用パソコンの使い方が分からなくて困^{こま}っていたので、わたしは、これまでの経験^{けいけん}を生かして、パソコンの使い方やその他の仕事を^{こま}ていねいに教えてあげたいと思った。

。だから、

三 わたしが庭にまいたアサガオの種^{たね}は、二週間たっても芽^めが出なかつたので、もう芽は出ないかもとあきらめかけていましたが、次の日の朝、庭を見ると、アサガオの小さな芽が、いくつも顔を出していました。

。しかし、

言葉の特徴や使い方に関する事項

つながぎ言葉を使って文を書こう

年 組 番 名前

読み手に伝わりやすくするために、
分けて書き直します。書き直した終
しょう。なお、読点（、）も字数にふく

一 和菓子職人の上野さんに和
菓子の作り方や種類などに
しは、図書館へ行って和菓子の

◆解説◆
 ・「だから」「や」「しかし」のように、前の文と後ろの文のつながりをはっきりさせる言葉を、つながぎ言葉といいますが。
 ・一文が長くなると、意味が分かりにくくなります。分かりやすい文になるように、つながぎ言葉を使って、文を分けましょう。
 ・主語と述語の関係や、文をつなぐ働きをする「〜ので」「〜けれど」「〜して」などの言葉を注目して、どこで分けたらよいか考えましょう。

書きま
は、和
わたし

(例)

思
い
ま
し
た

。だから、

わ
た
し
は
、

二 新しく図書委員になった五年生は、貸し出し用パソコンの使い方が分からなくて困っていたので、わたしは、これまでの経験を生かして、パソコンの使い方やその他の仕事をていねいに教えてあげたいと思った。

(例)

困
っ
て
い
た

。だから、

わ
た
し
は
、

三 わたしが庭にまいたアサガオの種は、二週間たっても芽が出なかつたので、もう芽は出ないかもとあきらめかけていましたが、次の日の朝、庭を見ると、アサガオの小さな芽が、いくつも顔を出していました。

(例)

て
い
ま
し
た

。しかし、

次
の
日
の
朝

これまでに学習したことをたしかめよう

年 組 番 名前

一 次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 次の文の――部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。送りがなが必要な場合は、送りがなも書きましょう。

※まちがえた漢字をもう一度練習しましょう。

① 新しいビルをけんせつする。

② 海の生き物にかんしんがある。

③ ここは、日本でもっとも古い寺です。

④ ポットの湯は、あついで気をつける。

(2) 次の都道府県の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

① 茨城県

② 滋賀県

二 次の文の()に当てはまる「つなぎ言葉」を書きましょう。

(1) 明日は雨がふるらしい。()、ねる前にかさを用意した。

(2) 明日は雨がふるらしい。()、明日の持ち物にかさを用意していない。

(3) 田中さんは絵が上手です。()、走るのも速いです。

三 漢字辞典で「案」について、次のじょうけんで調べるとき、漢字辞典のどのさく引を使って調べればよいですか。もっともふさわしいものをあとのアからウまでの中から一つ選んで、その記号を○でかこみましよう。

へじょうけん〈「案」の読み方も部首も分からない場合。

ア 総画さく引

イ 部首さく引

ウ 音訓さく引

言葉の特徴や使い方に関する事項・情報の扱い方に関する事項

これまでに学習したことをたしかめよう

年 組 番 名前

一 次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 次の文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。場合は、送りがなも書きましよう。

① 新しいビルをけんせつする。

② 海の生き物にかんしんがある。

③ ここは、日本でもっとも古い寺です。

④ ポットの湯は、あついで気をつける。

熱い	最も	関心	建
----	----	----	---

(2) 次の都道府県の読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

① 茨城県

いばらきけん

② 滋賀県

しがけん

◆かい説◆

①「建」と形がにている漢字は、ほかに【健】があります。【建】は、「たてる」という意味があります。【健】は、体がじょうぶという意味があります。

②「かんしん」と読む漢字は、ほかに【感心】があります。【関心】は、心に引きつけられることを表します。【感心】は、りっぱだ、えらいなど心に深く感じることを表します。

④「あつい」と読む漢字は、ほかに【暑い】があります。【熱い】は、物の温度が高いことを表します。【暑い】は、気温が高いことを表します。

二 次の文の()に当てはまる「つなぎ言葉」を書きま

(1) 明日は雨がふるらしい。() だから ()、

(2) 明日は雨がふるらしい。() しかし ()、明日

(3) 田中さんは絵が上手です。() しかも ()、走る

◆かい説◆

(1)ほかに、「それで」「そのため」などが当てはまります。

(2)ほかに、「それでも」「でも」「けれども」などが当てはまります。

(3)ほかに、「また」「それで」「などが当てはまります。

三 漢字辞典で「案」について、次のじょうけんで調べるとき、漢字辞典のどのさく引を使って調べればよいですか。もっともふさわしいものをあとのアからウまでのの中から一つ選んで、その記号を○でかこみましよう。

へじょうけん「案」の読み方も部首も分からない場合。

- ア 総画さく引
- イ 部首さく引
- ウ 音訓さく引

これまでに学習したことをたしかめよう

年 組 番 名前

一 次の文の――部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。送りがながひつような場合は、送りがなも書きましょう。

※まちがえた漢字をもう一度練習しましょう。

① ひつようなことをグループで話し合う。

② 海の生き物にかんしんがある。

③ ここは、日本でもっとも古い寺です。

④ 今朝は、いつもより早く目がさめた。

二 次の文の（ ）に当てはまる「ことわざ・故事成語」としてもっともふさわしいものを、あとのアからオまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

① アナウンサーは正しくニュース原こうを読む。しかし、きのう、町の名前を読みまちがえていた。（ ） だなど思った。

② 何か大きなことを成しとげるためには、小さなことの積み重ねが大切、つまり（ ） だということだ。

③ 兄と弟が、わすれ物を三回したのか、四回したのかで言い争っていたが、わたしから見たら二人は（ ） だ。

ア	さるも木から落ちる	イ	千里の道も一歩から
ウ	急がば回れ	エ	五十歩百歩
		オ	漁夫の利

三 次の言葉をローマ字でていねいに書きましょう。

① 写真

② ヨット

① _____

② _____

四 漢字辞典で「案」について、次のじょうけんを調べるとき、漢字辞典のどのさく引を使って調べればよいですか。もっともふさわしいものをあとのアからウまでの中から一つ選んで、その記号を○でかこみましょう。

へじょうけん「案」の読み方も部首も分からない場合。

ア 総画さく引

イ 部首さく引

ウ 音訓さく引

言葉の特徴や使い方に関する事項・情報の扱い方に関する事項

これまでに学習したことをたしかめよう

年 組 番 名前

一 次の文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。送りがながひつような場合は、送りがなも書きましょう。

① ひつようなことをグループで話し合う。

② 海の生き物にかんしんがある。

③ ここは、日本でもっとも古い寺です。

④ 今朝は、いつもより早く目がさめた。

二 次の文の（ ）に当てはまる「ことわざ・故事成語」としてを、あとのアからオまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記

① アナウンサーは正しくニュース原こうを読む。しかし、きちがえていた。（ア）だなど思った。

② 何か大きなことを成しとげるためには、小さなことの積み重ねが大切、つまり（イ）だということです。

③ 兄と弟が、わすれ物を三回したのか、四回したのかで言い争っていたが、わたしから見たら二人は、（エ）だ。

ア	さるも木から落ちる	イ	千里の道も一歩から
ウ	急がば回れ	エ	五十歩百歩
		オ	漁夫の利

三 次の言葉をローマ字でていねいに書きましょう。

① 写真

② ヨット

①

syasin

②

yotto

四 漢字辞典で「案」について、次のじょうけんで調べるとき、漢字辞典のどのさく引を使って調べればよいですか。もっともふさわしいものをあとのアからウまでの中から一つ選んで、その記号を○でかこみましよう。

へじょうけん「案」の読み方も部首も分からない場合。

- ア 総画さく引
- イ 部首さく引
- ウ 音訓さく引

◆かい説◆
 ②「かんしん」と読む漢字は、ほかに【感心】があります。【関心】は、心に引きつけられることを表します。【感心】は、うらやま、だ、えらいなど心に深く感じることを表します。
 ④「さめる」と読む漢字は、ほかに【冷める】があります。【覚める】は、起きるときに【冷める】は、熱がなくなるときに使います。